

**製品名: ACTH マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82576**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	29.4kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACTH
別名	POMC; LPH; MSH; NPP; POC; CLIP; OBAIRH
遺伝子 ID	5443.0
SwissProt ID	P01189
免疫原	大腸菌で発現したヒト ACTH の精製された組み換え断片。

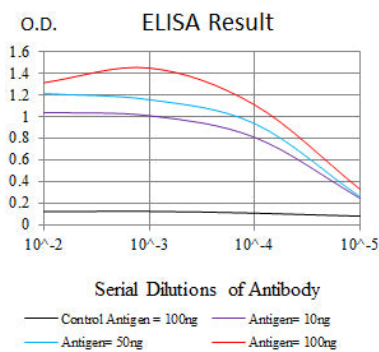
**背景**

この遺伝子は、プロホルモン転換酵素として知られるサブチリシン様酵素による切断を介して、広範な組織特異的な翻訳後プロセッシングを受けるプレプロタンパク質をコードします。プレプロタンパク質には 8 つの潜在的な切断部位があり、組織の種類と利用可

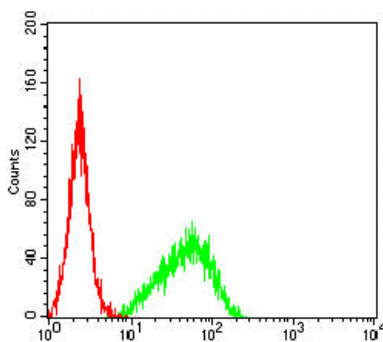
能な転換酵素に応じて、処理によって多様な細胞機能に関与する 10 個もの生物学的に活性なペプチドが生成されます。コードされているタンパク質は主に下垂体前葉の副腎皮質刺激ホルモン産生細胞で合成され、そこで 4 つの切断部位が使用されます。正常なステロイド生成と正常な副腎重量の維持に不可欠な副腎皮質刺激ホルモンと、リポトロピンベータが主要な最終産物です。視床下部、胎盤、上皮などの他の組織では、すべての切断部位が使用され、疼痛やエネルギー恒常性、メラノサイト刺激、免疫調節に関与するペプチドが生成されます。これらには、副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) および  $\beta$ -リポトロピンペプチドに含まれる、複数の異なるメラノトロピン、リポトロピン、エンドルフィンが含まれます。抗菌作用を持つメラノトロピン  $\alpha$  ペプチドは、抗菌および抗真菌作用を示します。この遺伝子の変異は、早期発症型肥満、副腎機能不全、および赤毛の色素沈着と関連付けられています。同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写バリエーションも報告されています。

## 研究分野

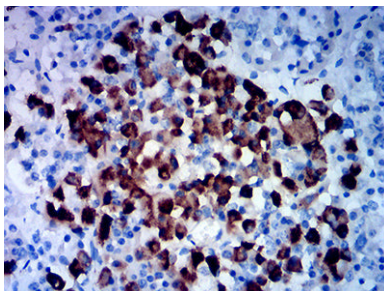
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



ACTH マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



ACTH マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト下垂体組織の免疫組織化学分析。